

# 「オーストラリアフィールドスタディ： 英語と環境保護を学ぶ」

担当教員 高田雅之 ストックウェル・エスター

---

## コース概要

日程 2019年2月17日～3月3日

場所 オーストラリア、クイーンズランド州、ゴールドコースト

参加人数 23名

## コースのねらい

以下の3つの大きな研修目的があります。

- ① ボンド大学附属語学学校で英語を学ぶこと
  - ② 世界的に珍しいオーストラリアの自然を学ぶこと
  - ③ オーストラリアの文化を学ぶこと
- 

## 内容

オーストラリア・フィールドスタディ（AFS）には3つの特徴があります。それは、①大学附属英語学校での語学研修、②オーストラリアの文化を学ぶ、③世界的に珍しいオーストラリアの自然を学ぶ、この3つを統一的に学習・体験できることです。

語学の授業は、クイーンズランド州ゴールドコースト市内のボンド大学キャンパス内にある大学附属語学学校（Bond College）で行われました。Bond College 授業の開始初日に、Placement Test（英語力の判断をするためのテスト）が実施されました。このテストのスコアに基づき授業を受けるクラスレベルが指定されます。これは、「生徒の現在の能力にあうレベルで英語を学ぶことがその習得に役立つ」という考えからです。授業のプログラムは、学習の基礎となる項目である「聴く、話す、読む、書く」の能力向上を目指して総合的に進められました。

2週間の本フィールドスタディ中は、各学生が、日本人学生の受け入れ経験のあるオーストラリア人の家庭で過ごしました。オーストラリア人の実際の生活を通じて、オーストラリアの文化を学ぶことも貴重な経験となりました。

フィールドスタディではカランビン野生動物保護区とラミントン国立公園の2カ所を訪ねました。オーストラリアは世界でも最も豊かな自然環境をもち、かつ自然環境や動植物の保護に積極的な国のひとつですが、そこで自然環境や動植物の保護について勉強しました。

カランビン野生動物保護区にある野生動物病院や研究施設を訪問し、病院に来る動物と動物の治療を始めとし、自然環境の中で人間の行動によって動物に直接影響を与える危険性があるために環境を大切

にする必要性について学びました。それから、カランビン野生動物保護区が多くのネイティブ動物のリハビリにどのように重要な役割を果たすかについて学びました。コアラのエリアも訪れ、スタッフと話をしてコアラについてより多くの知識を身に付けました。

ラムントン国立公園は1994年にユネスコの世界遺産に登録された、 Gondwana 雨林保護区の一つの場所です。ラムントン国立公園には、亜

熱帯、乾燥、温帯、寒帯の気候に属する植物が生息していて、太古の自然を思わせる景観が広がっています。亜熱帯地域のナンヨウスギ、寒帯地域にのみ見られるナンキョクブナ、また最古のシダ植物などの170種以上の希少な植物の他、クサビオヒメインコやアルバートココドリなどの絶滅危惧種を含む270種の鳥類、フクロギツネやパルマワラビー、ヒメウオンバットなどの珍しい動物を見ることが出来ます。本フィールドスタディでは、この貴重な自然をオーストラリアの政府がどのように保護しているか、どのように eco-tourism に結びつけているかなどを学びました。

こうして AFS では、英語学校で英語を学び、FS で自然環境や動植物の保護について勉強し、そこで学んだことについてホームステイ先の家族と話すなど、オーストラリア人の実際の生活を通じて、オーストラリアの文化を学ぶことができます。



オーストラリアの自然動物について学ぶ①



オーストラリアの自然動物について学ぶ②



2週間の Bond College の修了式後



きれいなオーストラリアの海